

今年も
猛暑！

飽水管理で高温対策を！
刈遅れないよう早めの準備を！

1 出穂の状況

管内平坦部の出穂期は、中生品種で8月3日頃（平年並）、晩生品種で8月7日頃（平年より2～3日早い）となりました。出穂期を迎えている「つや姫」では湛水状態（花水）を保ちましょう。

表1 管内平坦部の出穂期

品種	出穂期
ふくひびき	7月28日頃
はえぬき・雪若丸・ひとめぼれ	8月3日頃
つや姫	8月7日頃

2 高温年の水管理 ～飽水管理を徹底すること、早期落水しないこと～

梅雨明け（8月1日）後、高温で経過しており、今後も平年より気温が高い状態で推移する予報です。**猛暑条件下では根の活力低下が懸念されます。**穂揃後は田んぼに水を張りっぱなしにせず、**飽水管理（きめ細かい間断かん水）**を徹底し、根の機能維持を図りましょう。用水は気温の低い朝夕に入れ替え、水温や地温を下げるように管理しましょう。

また、**早期落水は品質低下や減収を招きます。**田んぼが柔らかいと収穫作業しにくくなりますが、田んぼは早期落水で乾かすのではなく、飽水管理により適度に田んぼを締めらせる等工夫し、「出穂後30日間は水を入れ、早期落水しない」ことを必ず実践しましょう。

なお、フェーン現象等の高温や強風が予想される場合は、一時的に湛水して稲体の消耗を防ぎましょう。

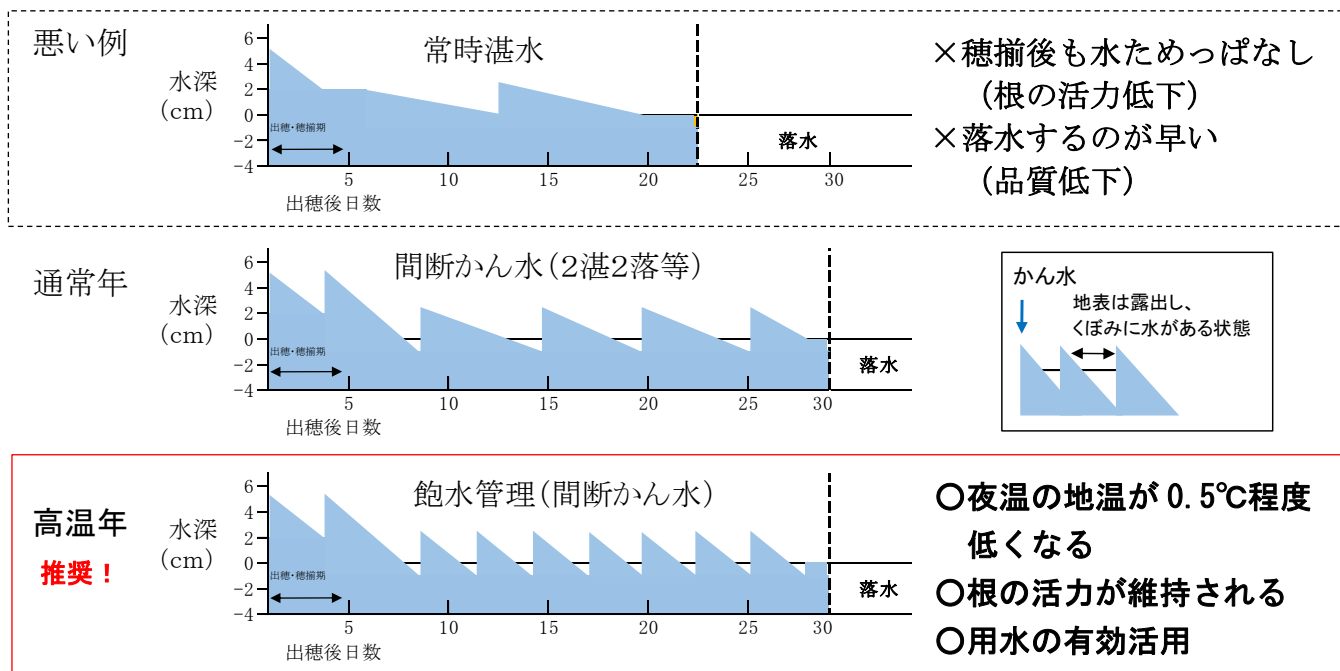


図1 登熟期間中の水管理

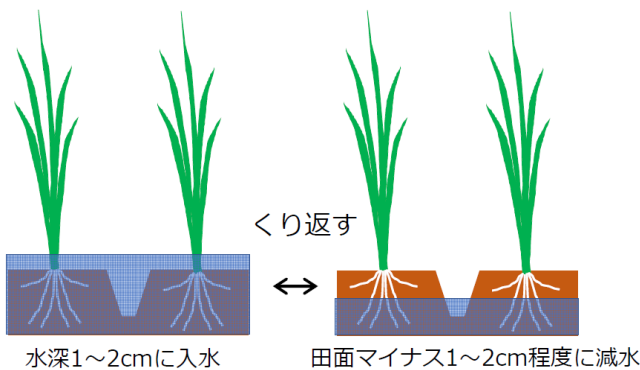


図2 飽水管理のイメージ



地表（田面）に水がないが、くぼみには溜まっていて、土壌が常に湿潤状態に保たれている

写真 飽水管理の様子

配水（番水）計画を必ず守り、下流の圃場にも用水が行き渡るよう十分配慮しましょう。

3 適期刈取り ～刈遅れにならない計画を～

今後の高温の予報も加味した刈取り適期の目安は表2のとおりです。今後、さらに気温が高い日が続けば、登熟進度はさらに早まることが考えられます。

昨年は猛暑の影響で登熟が急激に進み、刈遅れになってしまった圃場も多く見られました。必ず刈取り晩限を守るように、今から計画を立てましょう。

表2 出穂後の平均気温の積算から予想される刈取り適期の目安（平坦部）

品種	出穂期	刈取り適期 積算気温※の範囲	刈取り適期の目安			平年の 刈取り適期
			期間	青籾歩合	籾水分	
はえぬき	8/3	900℃～1,150℃ ※	9/5～9/16	刈始 20%	25%	9/8～9/19
つや姫	8/7	950℃～1,150℃ ※	9/12～9/21	刈始 15%	以下	9/18～9/27

※酒田アメダスデータ：7月31日までは本年値、8月1～30日は気象庁2週間気象予報及び1か月予報の確率予測資料、9月1日以降は平年値を用いて積算した。

※高温登熟年次の刈取適期は、「はえぬき」は900℃～1,150℃、「つや姫」は950℃～1,150℃となる。

庄内総合支庁酒田農業技術普及課 からLINEで配信！

こんな情報をお届けします！

- ・『米づくり情報』などの栽培技術情報
- ・適期穂肥に向けたタイムリーな情報 など

ぜひ友達登録をお願いします！



受信イメージ



↑登録はこちら

農作業安全 & 熱中症対策を！

無理はせず水分、休息をしっかりととりましょう！

